

日本臓器、介護に参入

東京の事業者と提携 アジアにらむ

日本臓器製薬(大阪市)は都内で介護施設を展開する社会福祉法人、善光会(東京・大田)と提携する。まず介護や医療のデータを核にした新たな介護サービス事業を立ち上げる。日本臓器の持つアジアでのネットワークを生かし、海外での介護事業の展開にもつなげる

考えた。製薬会社と介護事業者の提携は国内でも珍しい。

幅広いデータを活用した新たなサービスの創出に取り組む。

「ノイロトロピン」を中心とした医療医薬品を扱う中堅の製薬会社で、近年は医療機器の開発販売も手掛けている。善光会との提携で介護分野に進出、医療から介護まで

幅広のデータを活用した新たなサービスの創出に取り組む。

一方、善光会は都内に特別養護老人ホームなどを展開しており、運営する施設で歩行支援ロボットの見守りセンサーなどのICT(情報通信技術)機器を積極的に取り入れている。傘下にデジタル

化技術の開発やデータ分析を手掛ける善光総合研究所(東京・港)を持ち、介護の生産性向上や効率化の研究を進めている。

日本臓器製薬は中国やベトナムに工場や事業所を持つっており、善光会はこうした拠点を足がかりにアジアでICTを活用した介護サービスを広げる。アジアを中心とした海外では高齢化が徐々に進んでおり、介護ニーズが急増している。

製薬会社と介護事業所が連携することで、新たな介護・医療機器の開発やより多くのデータを収集・分析することができると判断した。